

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年2月22日 (2018.2.22)

【公開番号】特開2017-221471(P2017-221471A)
 【公開日】平成29年12月21日 (2017.12.21)
 【年通号数】公開・登録公報2017-049
 【出願番号】特願2016-119465(P2016-119465)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月12日 (2018.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、

検出手段と、

被検出手段と、

を備え、

前記検出手段は、発光部と該発光部から照射される光を受光する受光部とを有し、該受光部が受光状態と非受光状態とに変化することで前記被検出手段を検出する検出状態となるものであり、

前記発光部と前記受光部との間に入り込んだ異物により、前記受光状態または前記非受光状態に前記被検出手段に依らずに変化することで前記検出手段が誤って前記検出状態となることを防止する誤検出防止手段を更に備え、

前記検出手段は、遊技者の動作を検出可能である
 ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記誤検出防止手段は、前記発光部と前記受光部との間に異物が堆積することを防止する異物堆積防止手段である
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記誤検出防止手段は、前記発光部と前記受光部との間に堆積した異物を除去する異物除去手段である
 ことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記検出手段がベース部に設けられるとともに、前記被検出手段が前記ベース部に対し動作可能な動作部に設けられ、前記動作部を可動させる動作部可動手段を備える
 ことを特徴とする請求項 1 ～請求項 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

前記検出手段がベース部に設けられ、前記ベース部を可動させるベース部可動手段を備え、

前記異物除去手段は、前記ベース部可動手段であることを特徴とする請求項３に記載の遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

前記課題を解決するために、本発明の請求項１に記載の遊技機は、遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機１）であって、検出手段（例えば、役物位置検出センサ２０３，２０４、プッシュセンサ３０１）と、被検出手段（例えば、被検出片２０８，３３３）と、を備え、

前記検出手段は、発光部（例えば、発光部２０６，３０２）と該発光部から照射される光を受光する受光部（例えば、受光部２０７，３０３）とを有し、該受光部が受光状態と非受光状態とに変化することで前記被検出手段を検出する検出状態となるものであり（例えば、発光部３０２から照射される光が被検出片３３３により遮られることでプッシュセンサ３０１が検出状態となる部分、発光部２０６から照射される光が被検出片２０８により遮られることで役物位置検出センサ２０４が検出状態となる部分）、

前記発光部と前記受光部との間に入り込んだ異物（例えば、埃Ｄ）により、前記受光状態または前記非受光状態に前記被検出手段に依らずに変化することで前記検出手段が誤って前記検出状態となることを防止する誤検出防止手段（例えば、ブラシ２１０，３３４，３０４、送風ファン３１２，３１３、振動発生装置３１４、駆動装置２０１、シール部材３６１、被覆部材３６０）を更に備え、

前記検出手段は、遊技者の動作を検出可能であることを特徴としている。

この特徴によれば、発光部と受光部との間に入り込んだ異物により、発光部から照射される光が遮断され、検出手段の不具合が生じてしまうことを防止することができる。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明の請求項４に記載の遊技機は、請求項１～請求項３のいずれかに記載の遊技機であって、

前記検出手段（例えば、役物位置検出センサ２０４、プッシュセンサ３０１）がベース部（例えば、支持棒２１１、ボタン基板３１０）に設けられるとともに、前記被検出手段（例えば、被検出片２０８、被検出片３３３）が前記ベース部に対し動作可能な動作部（例えば、動作棒２１２、ボタン基部材３３０）に設けられ、前記動作部を可動させる動作部可動手段（例えば、駆動装置２０１により動作棒２１２が可動する部分、プッシュボタン３００が遊技者の押下操作で可動する部分）を備えることを特徴としている。

この特徴によれば、動作部が可動されることで遊技興趣を向上することができる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

本発明の手段２の遊技機は、請求項３に記載の遊技機であって、

前記異物除去手段（例えば、ブラシ２１０，３３４，３０４）は、前記被検出手段（例えば、被検出片２０８，３３３）に設けられることを特徴としている。

この特徴によれば、被検出手段が検出手段に近接する度に、被検出手段が発光部と受光部との間に堆積した異物を除去することができる。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

本発明の手段６の遊技機は、請求項２または手段５に記載の遊技機であって、

前記異物堆積防止手段は、前記検出手段（例えば、プッシュセンサ３０１）及び前記被検出手段（例えば、被検出片３３３）の周囲を囲うもの（例えば、カバー部材３５０とボタン枠部材３２０とシール部材３６１と被覆部材３６０とでプッシュセンサ３０１及び被検出片３３３を囲う部分）であることを特徴としている。

この特徴によれば、検出手段及び被検出手段に異物が入り難くなるので、異物が発光部と受光部との間に堆積されることを防止することができる。